(オリンピック・パラリンピック準備局)

1 出張先

大韓民国江原道平昌郡及び江陵市

2 出張者数

34名 (期間: 平成30年2月5日から 2月26日) ※ジャパンハウスの運営とオブザーバープログラムの両方に参加した職員を重複して計上

3 総経費

27,401,271円 <出張経費の内訳(PDF)>

- 4 副知事及びオリンピック・パラリンピック準備局長の出張
- (1) 出張者:猪熊副知事、潮田オリンピック・パラリンピック準備局長
- (2)期間:平成30年2月9日(金曜日)から同月11日(日曜日)まで

(3) 概要:

平成30年2月9日から同月25日まで、大韓民国江原道平昌郡及び江陵市において平昌2018オリンピック競技大会が開催される。本出張において、大会の運営状況や大会関連施設等を調査し、東京2020大会に向けた開催準備の参考にする。また、現地に設置する「Tokyo 2020 JAPAN HOUSE」において、東京2020大会及び開催都市東京のPRを行うとともに、IOC委員等の大会関係者と意見交換を行い、東京大会へ向けた更なる連携の強化を図る。

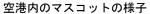
(4) 出張先での主な行動と成果:

▶ 2月9日(金曜日)

午前、成田空港を出発し、仁川空港に到着しました。

仁川空港では、平昌大会のPRコーナーを視察するとともに、空港に配置されたボランティアの方々と意見交換を行い、その活動状況について調査しました。







大会ボランティア (仁川国際空港)

その後、仁川空港から、KTX(韓国高速鉄道)に乗車し、大会開催地である平昌(ピョンチャン)に向かうとともに、鉄道による観客輸送の状況について確認しました。



KTX 珍富駅



乗車ドア

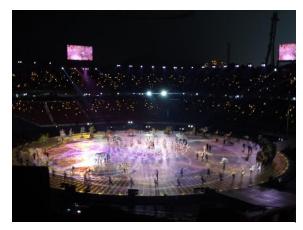
到着後、平昌オリンピックプラザにある開会式会場(平昌オリンピックスタジアム) へ向かいました。

副知事は、開会式前、パリ2024組織委員会のエチエンヌ・トボアCEO等と挨拶をしました。

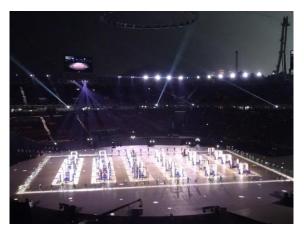


トボアCEOと猪熊副知事

開会式では、式典の演出について視察するとともに、大会関係者や観客等の輸送、会場や周辺における観客誘導等の状況について確認しました。



開幕公演の様子



LEDによるライトアップの様子

▶ 2月10日(土曜日)

午前、江陵において、江原道が、観光地や名産品等を海外メディアに紹介し、観光振 興等に繋げることを目的として設置した江原メディアセンターを視察しました。



記者用スペースの様子



インフォメーションカウンターの様子



江原道のパネルについて説明を受ける猪熊副知事

その後、江陵オリンピックパーク内に設置した「Tokyo 2020 JAPAN HOUSE」を訪れ、開催都市東京や東京2020大会の魅力をPRする取組について確認しました。





施設外観

東京トラベラーズ

午後、平昌にある横渓(フェンゲ)輸送基地を訪問し、大会運営の要となる選手や大会関係者、観客等の輸送について説明を受けるとともに、運転手用の宿舎や食堂、事務棟等の関係施設を視察しました。



バス駐車場の様子



給油スタンドの様子

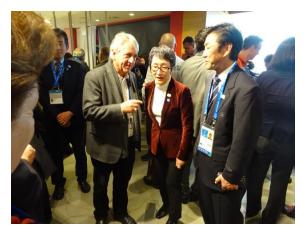


宿泊棟の外観



食堂の様子

その後、平昌において開催されたJOC主催のレセプションに出席し、IOC委員や 競技団体の代表者等の大会関係者と挨拶しました。



ショールマン国際近代五種連合会長と猪熊副知事



あいさつをする安倍首相

レセプション終了後、選手等の生活の拠点となる選手村(平昌)を訪問し、施設や設備、居住者へのサービス等について説明を受けました。



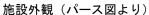
選手村宿泊棟の様子



居室モデルルーム

江陵に移動後、バレエ、ミュージカル、オーケストラなどの公演を無料で公開している江陵アートセンターを訪問し、大会期間中に実施されている文化プログラムについて説明を受けるとともに、会場等の施設を視察しました。





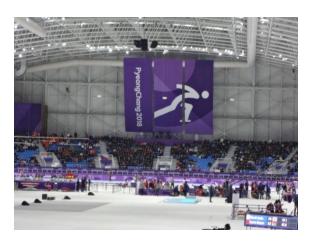


説明を受ける猪熊副知事

その後、江陵オリンピックパークにある競技会場(江陵オーバル)で実施されたスピードスケート女子 3000m を視察し、出場した日本代表選手を応援するとともに、会場内の装飾やバリアフリーの状況等を調査しました。



車いす席の様子 (※車いす席数:80/8000)

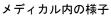


会場の様子

▶ 2月11日 (日曜日)

午前、平昌において、JSC(日本スポーツ振興センター)が、スポーツ庁からの委託事業「ハイパフォーマンス・サポート事業」の一環として、大会期間中、現地における日本選手団の選手・スタッフのためのサポートを目的に設置したハイパフォーマンス・サポートセンターを視察し、普段食べ慣れた食事の提供やメディカルサポートなどの機能や設備について説明を受けました。







リカバリープールの様子



食事スペースの様子

続いて、世界のメディア関係者が競技の結果や五輪関連ニュースを伝えるための取材活動の拠点となるメインプレスセンター(MPC)を視察しました。



MPC(既存施設部分)の外観



記者用スペースの様子







社単位有償提供エリアの配置図

その後、龍平(ヨンピョン)エリアに設置されたスイスハウス(ホスピタリティハウス)を訪問し、大会期間中、スイス政府が行う自国の観光 P R 事業や、メダリスト用の記者会見ブース等の設備について説明を受けました。



ハウス前のアイスホッケー体験スペース



スイス特任大使との記念撮影

午後、珍富(チンブ)駅からKTXに乗車して仁川空港に移動した後、同空港を出発し成田空港に到着しました。